

2年目 小中一貫教育 ● 連載 No.23 ●

学びやすい学習環境を目指して 変わる一貫校リポート

～学習・施設の整備状況と行事予定～



■問い合わせ 教育委員会 学校教育課 ☎75-12227

今月号では、市内一貫校における、さまざまな教育実践や学校行事、今後の計画等について紹介します。

学び、の環境を整える

1. 全教室に「エアコン」設置

昨年9月に市内全学校の全教室、理科室や音楽室等の特別教室にエアコンが設置され、児童生徒の教室での学習や、さまざまな活動で、より良い空調環境の中で教育実践が展開されています。

冷房・暖房の使用規定は教育委員会の提案を生かし、各学校が集中管理システムの中で、エアコンを運用しています。

2. 全学校全教室に「電子黒板」を配備

現在、さまざまな教育現場で教師と児童生徒が、ICT機器「電子黒板」を活用しながら授業実践を続けています。



電子黒板の活用により、従来の指導に比べ「教材の量と質が豊かになる」「全員に確実に見せられる」「授業の流れがスムーズになる」「授業への興味・関心が高まる」などの顕著な成果が上がっています。(写真は中央校4年生の授業)

県内で、いち早く、電子黒板の教室への配備率100%を達成した多久市。教師の工夫した授業実践が、児童生徒を引きつけ、授業成果を高めています。

2月の定例教育委員会のお知らせ

日時 2月12日(木) 13時30分

場所 市役所 第2委員会室(自由に傍聴できます)

■問い合わせ 教育委員会 教育総務課 ☎75-13450

こう変わる 来年度からの「学習体制」

1. 「土曜授業」のスタートに向けて

年間数日間、学力向上対策としての授業時数の増加、また、保護者や地域のみなさんとの連携行事等を実施しやすくするために、今後、児童生徒の振替措置(代休)なしの「土曜授業」を実施するために、佐賀市・小城市とも連携し、実施のあり方や期日について協議しています。

2. 留守家庭への支援拡大

現在、放課後児童クラブは、中央校に4教室、東部校に1教室、西溪校に1教室を設置し、約210人の児童が入会しています。入会条件は、学校からの帰宅後に家に保護者等が誰もいない留守家庭となっています。来年度から運営が次のように変わり、留守家庭への支援を拡大します。

- ・小学3年生まで→小学6年生まで
 - ・18時まで→19時まで
- ※17時以降まで預ける場合は、保護者のお迎えが条件。

家庭で支える「心の育成」

「家読(うちどく)」の推進

市では、家庭での読書活動の取り組みとして小学部での「家読」を推進しています。「家読」により、家族の絆の深まり、読書好きな児童の育成を目指しています。

また、児童は年間100冊、生徒は年間30冊の図書の読破を目標に掲げ、読書の奨励が続いています。



今後の予定

1. 平成26年度 卒業証書授与式

・小学部 3月19日(木) ・中学部 3月13日(金)

2. 平成27年度 小中合同入学式(4月9日(木))

小中一貫校3校は、1年生と7年生の入学式を合同で開催します。一貫校開校以来、中学生が小学生の手を引いて入場する様子は、一貫校ならではの微笑ましい場面です。

来年度は新1年生150人が入学予定です。



▶今年度の入学式

尾形善次郎さんから

「夢をのせて大航海」が贈呈されました

昨年の12月24日に多久市教育委員会へ尾形善次郎前教育長(上段写真右)から教育書が市内3校と市立図書館に贈呈されました。これは、尾形さんが校長時代に全校朝会などで話した内容のうち24話をまとめたもので、平成7年3月に発行した「夢をのせて大航海」の初版分に、新たに3話を追加し、瑞宝双光章授章記念として製作されたものです。



オールカラー・200ページのこの本には「大きくはばたいてもらいたい児童生徒に自分の良さを生かし伸ばして欲しい。また自分の良さを生かし伸ばして生きたきた先人や、今日活躍している人たちがいることを知って欲しい。人間だけでなく、自然の動植物もそれぞれの命を一生懸命に生き、輝きを發揮している。豊かな感受性を持ち、伸ばして欲しい」との思いが込められています。



▶贈呈された「夢をのせて大航海」の表紙